

平成28年度～平成30年度 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

交付対象事業の名称	事業内容	年度	総事業費	交付金額	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後における実績値	実績値を踏まえた事業の効果について		
			単位:円	単位:円	指標	事業開始前	目標値(H31.3)	実績値(H30)	効果	実績に対する評価 今後の方針	
1 佐渡米ブランディング事業	<p>【佐渡米品質向上プロジェクト】 佐渡米の高品質化に伴うブランド力向上による販売量及び農家所得向上を実現 ①色彩選別機導入 ②土づくり資材補助 ③佐渡米品質向上プロジェクト事業</p> <p>【他分野との連携によるブランド力アップのための販売戦略】 「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」の販路拡大のためのキャンペーンやセールス活動を展開。 ①販売網構築 ②メイト・イン・サドブランド創出事業</p> <p>【企業支援対策事業】 ①地場産品販路開拓支援事業</p>	H28	48,046,240	24,023,120	指標① 「朱鷺と暮らす郷認証米」の販売量 (単位:t)	1,493	1,750	1,647(H29実績) ※H31実績11月頃公表	322	地方創生に相当程度効果があった	品質低下対策効果として、サポーターによる基本技術励行、生育状況揭示と併せ、色彩選別機導入支援により佐渡産コシヒカリ1等米比率はH29年度産は89%となり一定の事業効果は得られた。しかしながら、近年の気象変動による品質低下対策が課題となっており、斑点米などが多く発生し、収量が減少している。色彩選別機に篩われない米作りを進め、高品質はもちろん、更なる収量を確保する対策も必要となっている。また、比較的高価格で販売できる米穀専門店を中心に更なる販路拡大と販売力強化に取り組んでいるが、米の消費減少にも歯止めがかかっている。品質と収量の向上により、安定した出荷体制を構築し、海外市場を視野に入れた販路拡大により、安定した農家所得確保に繋げる必要がある。
		H29	44,932,306	22,466,153	指標② 「朱鷺と暮らす郷認証米」の販売店舗数 (単位:店舗)	297	358				
		H30	27,885,707	13,942,853	指標③ 社会減 3年後に30%減少 (単位:人)	△370	△270	△348			
2 ~住んでよし 訪れてよし 佐渡～ 佐渡版DMOを核とした地域づくり事業	<p>【航路対策事業】 ネクス東日本と連携した車両航空割引を実施し更なる誘客増を図る。 ①佐渡航路乗用車航空運賃割引拡充事業</p> <p>【佐渡観光地域づくり・まちづくり】 観光と農業、漁業、スポーツ、郷土芸能等多様な産業が連携した、佐渡全体の「地域づくり」、「まちづくり」を推進。 ①地産地消推進事業 ②観光魅力情報発信事業 ③周遊滞在型観光推進事業 ④スポーツ推進事業 ⑤ターゲット別戦略構築事業 ⑥インバウンド強化事業 ⑦通年観光推進事業 ⑧受入環境整備事業</p>	H28	28,951,893	14,475,946	指標① リピート率 (単位:%)	39.0	55.0		56	地方創生に相当程度効果があった	平成28年度から平成29年度まで佐渡観光地域づくり協議会において「佐渡版DMO」設立の調整を実施し、平成30年4月「佐渡版DMO」を立ち上げ、地域に散在する地域資源・魅力、人材などを整理し、観光・地域間交流・物産販売などにつなげる地域運営の土台づくりができた。しかしながら、観光コンテンツの一体的な取組みとなっておらず、更なる地域資源を活かした戦略的観光地域づくりが必要であり、スポーツイベントは観光と連動した長期滞在型となるようプログラムを開発する。また、参加者「外国人客」を新設しインバウンドの誘客を実施し、訪日観光客増のトレンド動向の把握と合わせ外国人観光客増につなげる対策を講じる必要がある。
		H29	81,169,976	40,584,988	指標② 若者定住支援数 (単位:人)	25	70				
		H30	131,404,793	65,702,396	指標③ 観光客一人あたり平均宿泊数 (単位:泊)	1.56	1.60	1.73			

平成28年度～平成30年度 地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

交付対象事業の名称	事業内容	年度	総事業費	交付金額	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後における実績値	実績値を踏まえた事業の効果について	
			単位:円	単位:円	指標	事業開始前	目標値(H31.3)	実績値(H30)	効果	実績に対する評価 今後の方針
3 「歴史と文化が薫る島 佐渡」 体験プロジェクト事業	【博物館・資料館管理運営事業】 歴史・伝統文化を体験するための仕組みを行うとともに、伝統文化・芸能の保存に係る後継者育成に係る支援を実施 ①古民家等改修 ②歴史・文化等体験施設案内員・実習指導員雇用 ③歴史・伝統文化等体験施設関係事務 ④伝統文化等保存支援補助金 【体験型イベント補助金】 ①観光振興イベント支援 【佐渡体験交流事業】 ①友好交流パス	H28	36,942,604	18,471,302	指標① 市営観光・文化施設入場者数 (単位:人)	220,357	286,000	195,259	地方創生に効果があった 歴史・文化をメインに事業を実施し、島外の家族連れをターゲットとして体験型モデルコースを提案。しかし、一度佐渡を訪れると二度目につながっておらず、本市の最大の資源である3つのプログラムが伝えきれていない現状がある。歴史・文化と3つのプログラムは別々なものではなく、金や里山は佐渡のジオの歴史と深い関わりを持っていることを広く情報発信していく必要がある。他の地域にない魅力的な3つのプログラムと一体的に取組むことにより、地域資源を最大限活用した事業展開が必要である。	
		H29	29,100,504	14,550,252	指標② 観光客数 (単位:人)	540,000	690,000	491,000		
		H30	29,363,374	14,681,687	指標③ リピート率 (単位:%)	39.0	49.0	33.7		